

## 令和2年度 呉市総合計画審議会第4回会議 摘録

- 1 日 時 令和2年12月7日(月) 18時30分～20時30分  
2 場 所 呉市庁舎7階 752～754会議室  
3 概要・骨子

### 【赤川会長】

皆さん、こんばんは。定刻となりましたので、会議を始めさせていただきます。令和2年度の呉市総合計画審議会第4回会議を開催します。

審議に入る前に、委員の皆様へ一言お礼を申し上げます。基本構想につきましては、委員の皆様より忌憚のないご意見をいただきながら審議を重ね、去る9月28日に向井副会長とともに市長へ答申することができました。委員の皆様のご協力に重ねて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今回からは、基本構想に掲げる将来都市像と目指すべき姿の実現に向けて、令和3年から5年間の各政策分野の具体的な施策の方向性を示す資料になる前期基本計画について、委員の皆様からご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の審議に入ります。まず始めに資料1「第5次呉市長期総合計画（第2編 基本構想まで）最終案及びパブリックコメント結果の報告」を確認したいと思います。事務局から説明をお願いします。

### 【審議】

#### 【資料説明】

- ・資料1 第5次呉市長期総合計画（第2編基本構想まで）最終案に関する説明。
- ・パブリックコメント結果の報告に関する説明。

#### 【意見交換】

資料1 第5次呉市長期総合計画（第2編基本構想まで）最終案について

### 委員からの主な意見・提案は次のとおり

(1) 第5次呉市長期総合計画（第2編基本構想まで）最終案について

#### 【海堀委員】

- ・資料1は市議会にかかっている最終案ということで、これをこの審議会ではそういう状況であるということを確認するだけなのか。

#### 【赤川会長】

- ・そのとおりである。

#### 【資料説明】

資料2 第5次呉市長期総合計画（第3編 前期基本計画）素案に関する説明。

#### 【意見交換】

資料2 第5次呉市長期総合計画（第3編 前期基本計画）素案について

## 委員からの主な意見・提案は次のとおり

### (2) 第5次呉市長期総合計画（第3編 前期基本計画）素案について

#### 【赤川会長】

- ・これまで議論を進めてきた基本構想は、市長からの諮問を受けて、当審議会が答申という形で構想を文面まで練り上げてきた。
- ・本日ご意見をいただく基本計画については、諮問・答申という形ではなく、審議会が出た意見を参考に呉市が作成するものである。
- ・委員の皆様には、専門的で俯瞰的な見地から施策を展開する際の視点や効果的な事業のアイデアなどのご助言をお願いしたい。

#### 【渡辺委員】

- ・政策分野2について、呉市は既に地域共生のモデル事業に関して、5年前から実施している。  
これが重層的支援体制整備事業に移行していくのだと思うが、これが高齢者、障害者、子育て、生活困窮など様々な福祉をつないでいくようなイメージである。介護保険制度にとどまらず、福祉を包括的に見ていこうということである。ここは国も力を入れているが、この内容では見えづらい。
- ・福祉の縦割りのシステムを克服するため、改正された法律には、包括的や重層的という文言が入っている。また、実効性を高めるため、医療・介護・福祉をつなぐような仕組みづくりとそれを計画的に進めていく地域福祉計画の策定に努めることが示されている。
- ・基本計画（素案）を見ると、高齢者福祉、障害者福祉、生活困窮など各分野が、これから目指していく地域共生社会について記載しているものの、高齢者福祉や障害者福祉、生活困窮などの関係する機関が連携する仕組みづくりを、どのように構築していくのが非常に重要で、それを実現するためには地域福祉計画の策定が必要だと考えている。
- ・広島市や福山市、東広島市、廿日市市などは計画を策定しており、各福祉制度に横串を刺し地域共生社会の実現に向けて取り組むことを示すためにも、基本計画に地域福祉計画の策定を記載するべきだと考えている。
- ・すべての政策分野に関して、呉市の場合、地区ごとの人口が非常に異なっている。人口推移に関しては、基本構想の8ページに表が掲載されているが、基本計画で、どのように地域特性や課題を踏まえた施策が盛り込まれるかというのが見えない。今後検討が必要である。

#### 【西川委員】

- ・スポーツの振興で気になったことがある。中学生になると、学校での部活動は種類が少なくなる。未来を担うトップアスリート人材の発掘や育成、部活動での講話、専門的な実技指導、様々なスポーツ大会の誘致はあるが、そもそもそれをやる場所がない。トップアスリートの試合を見ても、子どもたちはそれを経験する場所がないのが現状である。部活動の種類を増やすことが先決ではないだろうか。

#### 【田中委員】

- ・P72の「主な取組」(2)で市民参加による継続的なまちづくりを行うアーバンデ

ザインセンターの設立とあるが、市民が見た時に、これがもう少しどういふものなのかわかるような表現になると良い。公民学の連携のプラットフォームになるという話だと思うが、そういった話が、もう少し具体的に書かれていると、市民もイメージしやすい。

- ・P86の政策分野7について、気候変動の影響への適応の話を入れてもらえたのは良いと思う。P87の主な取組に、適応の話が一つでも入っていると良い。ここに入っている再生可能エネルギーとか、コジェネレーションとかは基本的には緩和の話だと思ったので、緑化とか暑さ対策とかでも、他の取り組みとも連動するかと思うが、何か適応の話、熱中症対策とかそういった話があると良い。
- ・P87の施策②「生物多様性の保全」ということを考えたときに、生物多様性に関する情報を集めてそれを保全に生かしていくという視点が大事なかなと思っている。市民団体や学校等で調査されている情報を集約・可視化することにより、情報の共有と生物多様性の理解につなげていくような取組があるとよいと思う。

#### 【武田委員】

- ・政策分野4のP54「スポーツの振興」について、私は大学で教員養成の課程を持っており、保健体育の教員を目指す大学生は、数はいるが、教員にならなければ、その他の道がなかなか見えてこない。そういう若い力を呉市の方でうまく利用していただければ良いかなと思う。例えば、小学生のボランティア。小学生の保健体育の授業を、大学生がボランティアに行き行って専門的な技術指導などするというような取り組みも、以前、広島市、福山市の方でも行っていた。小学校の先生より専門的な技術を持っている大学生を利用してもらうことも可能である。教員の負担を減らす意味でも、部活動の外部指導員として学生をどんどん活用してもらえれば良いと思う。
- ・P55の施策②「競技スポーツの振興」について、競技者の育成は時間も費用も掛かるが、スポーツを専門的にやりたい子ども達をトップに導くために、一つのクラブとか一つの学校ではできない包括的なことが地域をもとにできたら良い。イメージとしては呉市から世界に通じるアスリートを育成しようというような観点。その際に必要なのは、アスリートの養成プラス指導者の養成。今スポーツ現場で頑張っている指導者を、より現代的なものにアップデートするような形で指導力を上げる。そういうふうな指導者の養成も必要だと思う。
- ・P55の施策③「スポーツ環境の整備」について、施設を作る際にはぜひ専門家の意見を取り入れて欲しい。いろんなスポーツ施設をたくさん見てきたが、できてから、ここがこうなっていたらよりよかったというのはかなり出てくる。特に競技選手としての見地、指導者としての見地が入った施設の使い勝手と、そうでない施設の使い勝手は大きな差がある。そういったところに、専門家の意見が反映できるようになったら良い。

#### 【高田委員】

- ・政策分野3の「防災・減災に向けた体制の強化」について、連合広島呉地域協議会として地域でのボランティア活動を精力的に行っている。そういった意味では、ボランティアの収集なども含めて社会福祉協議会等との連携、今非常に難しい状況にある中で、連携を密にした形でボランティア体制

を評価していくというのにも必要かなと思う。そういった利活用の仕方をぜひして欲しい。

- ・日本製鉄の休止の報告は、皆さんには大変ショッキングな内容だったのではないかなと思う。産業分野の振興ということで跡地活用も内容に含まれていると思うが、まだ具体的に跡地の整備ができる目途が立っていない状況にある中で、そのあたりの情報収集をタイムリーに取るというのが一番大事ではないか。この跡地活用は呉市の産業振興という意味で活用して欲しいと思う。

#### 【信友委員】

- ・人口推計を見て、こんなに人口が減少するのかと驚いた。
- ・東京にいとコロナで過密な生活に恐ろしさを感じている。呉に早期に帰りたいたいと思っている。人口が多ければ良いというわけではないが、税収を増やしたり活気づけたりするためには人口は増やした方が良く、里帰り以外で、都会から呉市に移住したい人を増やすことを考えた方が良く思う。
- ・コロナ禍で都会から来たい人をどうやって取り込むかを地方は考えており、現状が続けば取り合いになる。呉の魅力を発信するべきである。呉の魅力は坂道とそこに家々があることである。移住先がマンションでは他の街と変わらぬので、古くからある坂の上の空き家を補助金でリノベーションして活用するのも良いと思う。港が見える場所でテレワークをする事は、今の若者には魅力的に感じると思う。このような都会から人を誘致する体制ができれば良い。
- ・コロナが終われば雇用が大きな問題となる。全国規模の企業を誘致しないと、おそらく新しい雇用を創出するのは難しいと思う。呉は幹線道路、新幹線からも遠いので孤立していると感じる。せめて広島呉道路の通行料をもう少し安くすれば、企業誘致等もよりスムーズにできるのではないかな。

#### 【笛吹委員】

- ・政策分野5 P65の観光振興の現状と課題について、観光の消費額を押し上げることで観光を基幹産業としていく必要があると書いてあるが、今のコロナ禍にあって少し違和感がある。コロナの影響を一番受けているのも多分観光業だと思うので、これを例えば経済面だけに焦点を当てて観光振興することは反対ではないが、観光を基幹産業として推し進めるには、市民からすると、少し不安を感じるのかなと思った。
- ・大和ミュージアムに重点を置いた政策のような印象を受けた。大和ミュージアムは呉市の観光に関して重要な位置付けだと思うが、例えば、島しょ部も魅力的な場所である。島や海を呉市の魅力として感じている。そういった呉市の他の部分の場所についても記載して欲しい。
- ・コロナ禍で危機的状況になった場合のサポート面に関しての文言、例えばリスク回避をどうするのか、社会的変化へ対応するための施策など、そういった視点も入れてほしい。
- ・コロナ禍ということもあり危機的状況になった場合のサポート面に関して、これは産業分野に該当するかどうかわからないが、例えばリスク回避をどうしていくかとか、社会的な変化に対応するための政策、そういった視点も入れて記載して欲しい。

#### 【下野委員】

- ・政策分野6 P81の施策②「公園・にぎわい空間の創出」について、公共空間の

利活用ということは、道路空間とか公園の利活用はマストになってくると思うが、P80の「現状と課題」には「一定のルールに基づいた活用に取り組む必要があります。」とある。この一定のルールとは、こういった形で決められるのか。もちろん守らないといけないルールは明確化したほうが良いと思うが、利活用がより進む方向で考えて欲しい。

- ・施策①「公園の整備」の主な取組に、魅力的で多様な機能を備えた公園整備があるが、これは具体的に何をするのか。公園整備を頑張りますみたいな感じにしか見えない。もう少し具体的な記載が欲しい。
- ・P71・72に記載されているアーバンデザインセンターのところの文言は、すごく良いと思うが、まちづくりに関わる人間としてアーバンデザインセンターがこういったものなのか、まだ見えていないので補足があった方が良いのではないか。
- ・P61「商業の活性化」とP65「観光の振興」に関連する意見だが、リノベーションやまちの活性化という面から考えると、やはり青山クラブの記述があった方が良いのではないか。
- ・子育て・教育分野のP25「学校教育の充実」について、教育機関の少なさも、若い人口の流出の一つだと思っている。より高い教育を学べる大学、もしくは研究施設等が必要なのではないか。もともとワンダーランド構想の先進的な教育環境の整備の中に記載がある、国際色豊かな大学や世界センターの研究所の設置もぜひ進めて欲しい。

#### 【小林委員】

- ・呉商工会議所の守備範囲としては、P59の産業分野である。基本構想があるので今更感があるが、産業分野が5番目なのかと感じている。産業がしっかりしていなくてはいけない。P13で国の地方創生総合戦略の説明があったが、最初に稼ぐ地域をつくるという文言がある。産業の活性化が雇用を生み、人口の維持、納税が行われ、街の基盤整備につながっていくのではないかと感じている。
- ・政策分野7に関連して、産業においても環境の視点は必要である。風力発電では呉の企業が玄海灘沖に設置した話を聞いた。自動車エンジンに関してもHVからEVへと変化し、環境に適応した新しい産業も創出されている。低炭素社会と企業が共存できる社会づくりという視点をいれても良いのではないか。
- ・政策分野5 P63「雇用機会の創出」について、20代の転出者が多いのは、大学や専門学校に行った方が戻ってこないことが要因として多いので、人が連携する取組が必要ではないか。例えば、インターンシップで呉市内の企業と大学生や専門学校の生徒を結びつけ、呉で働き場所や居場所を作ることで呼び戻すというような人を結びつける取組、人が連携する取組が必要なのではないか。
- ・P65「観光の振興」について、呉市単独で滞在型の観光を考えることは重要だと思うが、広島、廿日市以外の周辺の都市と連携を組み、観光を考える必要があるのではないか。お互いが連携を取って観光の流れをその中で作れば、少しは滞在者が増えるのではないか。
- ・P67「農水産業の振興」について、2014年にアメリカのベリンハムというローカルファーストの街を視察した。街を挙げてローカルファーストというステッカーをつくり車に貼っている。地元産の野菜や魚を地元の人間が食べようという活動で、価格で商品を選ぶのではなく、産地で選ぶ取組をしていた。ベリンハムのように、地元の人が地元のもの食べる・活用することで呉の農水産業を

守る流れを作る必要があるのではないか。

#### 【小谷委員】

- ・呉市のアンケート結果より呉市に住み続けたい人が64%もいる。その中で転出者が多いのは仕事が大きな原因であり，企業誘致は大切なことである。
- ・政策分野1の教育分野からみると，学校教育の充実は更に大切なことだと思う。呉市は早くから小中一貫教育を基盤とした取組をし，系統的な教育を進めている。これからはICTを活用して教育の力をつけていこうとしている。
- ・呉市外への中学校の進学者が4.6%（令和元年度）いる。さらに高い教育を目指すニーズがある。呉市にも中高一貫教育が出来る学校があれば，呉市外からも人が集まり，子育て世代も呉市に住む魅力を感じるのではないか。
- ・大企業が撤退し，空き地などが増えてくるのではないかと感じる。呉市ならではの伝統的なものづくりやマイスターのような学校，海を利用した水産など何かに特化した高校とか大学を誘致すれば若い人たちが集まって活性化するのではないか。

#### 【郡山委員】

- ・「第2章 前期基本計画」の「2 施策推進のための横断的な視点」として真っ先に「先端技術の積極的な活用によるSociety5.0の実現」とあるが，市内全域に整備する光通信網やGIGAスクール構想に向けて構築する教育環境が「2 基本政策」にほとんど生かされていない。
- ・光通信網の整備により，大都市の大型サーバーやスパコンを凌駕するクラウドコンピューティング環境が活用出来るようになるが，利用者側の環境を整備しなければ，市民にとっては，電話やケーブルテレビの代替にしかない。
- ・光通信網やGIGAスクール構想に向けた教育環境，生活を豊かにするとともに，雇用の創出や地域，及び年齢を超えた教育の充実に活用していかなければ，大きな機会損失になる。
- ・光通信環境の整備のその先を考えている他の自治体に遅れを期し，人口流出がどんどん進んでいってしまうのではないかと危惧している。
- ・光通信環境の整備は，都市部から大量の情報を受け取るだけでなく，都市部に対して大量の情報を提供できるインフラでもある。例えば遠隔医療など遠隔地に住んでいる医者が都市部の人々を診察することも可能である。テレワークの先をいく雇用の創出ができるポテンシャルを持っている。
- ・GIGAスクール構想に向けた学ぶ側の環境の整備は進んでいるが，教える側の環境も整備する必要がある。島しょ部や山間部に住んでいる人たちが市の中心部の学校の授業をリアルタイムやオンデマンドで受けられるようにするだけでなく，島しょ部や山間部に住んでいる人々が地域の文化や技能を都市部に教えられるようにすることで，魅力を全国に伝えられるようになるだけでなく，移り住んでくれそうな就業者をひきつけるとともに地域発の情報を配信する新たな雇用の創出にも繋がる。
- ・島しょ部や山間部もデジタルの力で都市と遜色ない場所にする事が出来る。そのためにはAIの活用が重要であり，AIを活用するためにはビッグデータが必須。光通信網を活用してビッグデータとなりえるデータが集められるIoTの整備を，農業や漁業だけではなく，医療や交通のニーズなどあらゆる場に展開できるようにそれぞれの政策に反映する必要がある。

### 【來山委員（桑原代理）】

- ・日本製鉄の休止による地域経済への影響をいかに最小限にするかが一番必要なことだと考えている。いかにこれ乗り越えるかが広島県としても大きな課題である。
- ・コンパクトシティ推進や地域公共交通の維持・確保の分野で議論を重ねている。呉市の先進的な取組もモデル事業として県としても勉強させていただいている。地域課題はどこでも共通なものがあるので、呉市の例を参考としながら一緒に課題を解決していきたい。
- ・政策分野1の子育て・教育分野について、地域で生まれ育った子どもたちが呉に愛着を持つことを一番に取り組んでもらいたい。市外から取ってくるのが難しい中で、いかに呉市に愛着を持って一旦外に出られた方も含め、呉市にシンパシーを感じてもらい続けることが必要ではないか。

### 【神田委員】

- ・政策分野6について、広島呉道路の4車線化など道路を強化すると相対的に鉄道が弱ってしまう。呉駅周辺地域の再開発もあり、鉄道が肝になってくる。呉線の生かし方が「移動しやすい交通環境の形成」で駅のバリアフリー化だけでは寂しい。うまく生かすということをもう少し表に出してはどうか。
- ・道路についてだが、災害後の観点でいくと、旧呉市と合併した安浦や川尻などと、災害など何があってもつなげる道路を最低限1本は確保するという記事を記載してはどうか。何があっても生活が途絶えないというメッセージを出したいと思っている。
- ・横断的な視点で、データドリブンな政策、あるいは事業のマネジメントがあっても良いのではないか。ビッグデータで様々なデータがレスポンスよく取れるようになっている中で、データを基に議論をしていく体制が全部の政策に含まれても良いのではないか。スピード感を持った施策展開に繋がれば良いなと考え、検討して欲しい。

### 【亀山委員】

- ・平成30年の豪雨災害、それから日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の休止発表に新型コロナウイルス感染症の流行などによる今の状況を考えると、企業誘致が必要ではないか。
- ・各地域、島しょ部でも地域おこし協力隊の方々に頑張ってもらっている。川尻町も筆のまち、仁方もヤスリで全国に名をはせた地域である。これらは、先人が技術を持ち帰り産業に発展させてきた。希望のある、やる気のある若い方を支援して、5年先、10年先に呉市に持ち帰ってもらって、一つの産業が生まれるような、長期的に見て呉市の将来のためになる産業を育てていく必要があるのではないか。
- ・商工会の小規模事業者が、小規模企業振興基本法を十分に活用できるようにして欲しい。
- ・呉市の人口は現在21万8千人ほどである。この中には外国人もいる。人口を増やしていくためには産業が重要である。若い人が希望を持てる呉市になるためには、教育、災害に強いまちづくりも大事であるが、産業振興を多方面から支援して欲しい。

### 【海堀委員】

- ・政策分野3 P47「防災・減災に向けた体制の強化」について、お互いに協力し合う関係が自然発生的にでも出てくるような環境作りを目指すというようなことが書かれている一方で、行政側から住民側への一方的な書き方に見えてしまう。
- ・例えば、P47の1行目「平成30年7月豪雨災害時には、多くの市民が避難指示後も避難行動を起こしませんでした。」と記載しているが、適切なタイミングで、適切な経路で、適切な避難行動が起こせなかったのであり、避難路がきちんとあるのかという疑問がある。これは都市基盤分野とも非常に関係している。P47の「施策の方向」2行目は、「市民が自らの命を守るための取組を推進します」と書くより、「市民自らが命を守りやすくなるための取組を推進します。」と書くべきであり、「協力する」という形の書き方が必要だと思う。
- ・P75から国道、県道や市道について記載があるが、もっと生活に密着した避難路のことについて、どこかに記載あれば良いと思う。
- ・環境分野について、P86から再生可能エネルギーの記載あり、もちろん推奨することは大切なことであると思うが、一方でソーラーパネルを設置する過程で森林伐採が大量に行われている。例えば、森林の環境を守りながらとか、配慮をしながら進めると記載した方が良いのではないか。
- ・基本構想のP16「行財政改革の取組」について、職員の適性配置や適正化では、人数が減ったことだけを強調している。必要な場所、必要なタイミングでは対応ができる体制が整っているというようなことを記載してはどうか。あるいは、能力をつけるために職員の希望に応じて、講習・研修を用意しているなどが記載してあれば良い。職員数が減っているということだけが強調されているように感じる。
- ・基本計画のP96と基本構想を読んだ後、職員組織の活性化や、職員の能力開発、意識改革等を読むと、負担増や強制的にというような読み方ができてしまうのが気になった。基本構想の書き方との関係があるからだが、基本構想はそのままでも、基本計画の方でしっかり補えることだと思う。

### 【折橋委員】

- ・政策分野7のP88の施策④「市営墓地の整備」について、火葬場、市営墓地について、整備よりも管理に重点を置いた将来計画を早めに着手すべきだと思う。施策の方向に、「無縁墳墓を増加させない、利用者情報の適正管理」とあるが、現状の把握が非常に困難な状況が、市町村合併後ここ20年近く様々なところに生じている。特に小さい自治体を抱え込んだ自治体では、所有者不明の墓が多く出てきて困っているということをよく伺うので、早めに着手して適正な管理に努めて欲しい。
- ・政策分野8について、P92の施策②主な取組(2)マイナンバー制度への対応は、効率的な行政システムの確立と関連してくる。現在国では、個人情報保護委員会と総務省の行政管理局の方で情報関係の通則法的な法律を所管しているが、将来的には国の情報所管の組織が改まるということを見越した上で、呉市でも、情報に関する技術的な面だけではなく、制度面についても対応するような総務部局の強化といったことを意識していけないか。
- ・P94の行財政改革の推進 施策②「効率的な行政システムの確立」の主な取組(2)民間委託等の推進について、民間委託がどんどん進められている一方で、行

政の機能が著しく損なわれているのではないかという分野が出てきていると思う。特に建築確認などは、大規模の自治体においても、民間に任せてしまった結果、行政側にそういったノウハウが残っていない、行政側での管理が行き届かなくなっているといった現状を聞くことがある。

- ・民間委託等の推進だけではなく、民間委託の見直しも含めて、少なくともある程度の行政機能を維持することを考慮していただければと思う。定員の適正化とも関連するが、職員数をどんどん減らすということではなく、必要な行政機能は維持する、増強するといったことも含めて検討して欲しい。
- ・P94の施策④「市民ニーズに対応する行政サービスの提供」について、情報公開とは、国においては、説明責任を果たすための責務であり、呉市においても当然に推進される場所である。そのため、施策の方向の2文目にある「情報公開を実施するとともに」は記載しなくてもよいのではないかと感じる。記載するのであれば、「情報公開を適切に推進するとともに」など一歩先の表現をした方がよいのではないかと感じる。また、主な取組(5)情報公開の推進について、具体的に何をやるのか記載した方がよいのではないかと感じる。例えば、相談窓口の充実、住民に情報公開制度の周知を図るなど。
- ・P98の都市間交流・連携の推進 施策①「広域連携の推進」の主な取組(1)近隣市町との連携の推進について、協議会や、何らかの事業がなければ連携できないというわけではない。広域連携の推進という大枠は重要だと思うが、それに加えて行政の効率化や、手数を増やさずに原課レベルで、隣の市町の担当者の顔がわかる、すぐに電話がかけられるなど非常に身近なレベルでの連携についても、内々で検討いただければよいのではないかと感じる。

#### 【小倉委員】

- ・政策分野3 P41「多文化共生社会の実現」について、呉市のホームページではやさしい日本語での発信などもされているが、防災体制のところに防災情報をやさしい日本語で発信するという追加をして欲しい。外国人住民は同じ国の者同士でネットワークを持っていることが多い。そこで普段から連携を取り、常に情報弱者にしないように、外国人住民に直に情報を届けるという体制を構築することが非常に重要だと思うので、そういったことも追記して欲しい。
- ・外国人住民に関して、乳幼児の対応の際、親や保護者がコミュニケーションをとれるかどうか、子供の命を守る上で非常に重要なポイントになってくるが、現場の保育士に任せきりという状況が増えてきている。保育に関して、障害のある子どものこと等は書いてあるが、外国人の子どものことも一つ追記して欲しい。
- ・政策分野7 P87施策②「生物多様性の保全」について、近年、グリーンインフラなど、自然環境が持つ機能を利用して、国土も守っていこうという考え方が非常に広まってきている。  
インフラ整備をする際にも、生物の生息環境を創出しつつも守っていくというような表現をすると、もう少し広い観点で見れるのではないかと感じた。  
そのように見ていくと、SDGsの関連するポイントがもう少し増えてくると感じた。
- ・島しょ部に電気自動車の充電スポットがあまりない。これからおそらく電気自動車が増えてくるので、宿などに充電スポットがあると、それを目指して行こ

うとする人が増えてくると思う。また、充電できるところを作る際に補助金があると設置してもらいやすくなるのではないかと思う。

#### 【梅木委員】

- ・P65観光振興について、観光のミッションは、①基幹産業の一つになって所得と雇用を確保するという経済的な面、②市民に地域に対する誇り愛着をもたらすことであり、この二つを達成するのが、基幹産業になるということだと認識している。そのことを施策の方向のところにはっきりと謳うことが必要だと思う。
- ・主な取組(3)観光産業の質的向上の継続による顧客獲得と(5)魅力的な観光資源の創出は、違いがよく分からない、中身が同じではないか。合わせて一つで良いのではないか。マーケットインでプロダクトを作って顧客にうまく提供する、というように分かりやすく記載する必要があるのではないか。
- ・市民の誇りと愛着を育むという点について、主な取組(4)市民意識の醸成ということになるのかなと思う。この取組は観光だけの取組だけではなく、地域ブランディングの話だと思う。P51施策③「呉の魅力発信」の取組と一体化し、しっかり力を入れて手厚く取り組んで欲しい。

#### 【岩崎委員】

- ・全般的な印象として、個別の施策で物足りなさを感じる。特に世の中のニーズやトレンドを反映したものがもう少しあっても良いと思う。
  - ・政策分野2について、新型コロナウイルスに市民はどう向き合うべきかという言及が少ない。市民はこうすべき、市はこうしていく、保健所を持つ中核市として、市はこうするのだという事をきちんと明確に示すべきではないだろうか。
  - ・外国人のことは小倉委員の発言の通りである。
  - ・政策分野6 P71施策①「コンパクトシティの推進」について、この取組は当然やっていくべきことだが、主な取組が立地適正化計画による誘導施策の推進と呉駅周辺地域総合開発の推進だけである。呉駅周辺が喫緊の課題であることは誰もが認めているが、コンパクトシティを推進するためには、もう少し項目を増やして考えて欲しい。
  - ・環境分野、P86環境の保全について、環境省の中央環境審議会では、瀬戸内海の実環境保全の新しい答申を出している。3つの目玉があり、藻場・干潟の保全、エコツーリズムの活用、そして海ごみ対策。当然プラスチックごみも含まれる。こういった感じでもう少し具体的にすると良いのではないか。特に瀬戸内海を守るという事がもっと具体的に伝わるようにして欲しい。
  - ・信友委員の指摘にもあったが、新型コロナウイルス感染症の流行で中央から地方へ人が流れているという話があった。
- 基本構想 将来都市像3 都会にはない心地よい暮らしが人々を惹きつける「くれ」に、テレワーク、ワーケーションや二地域居住など記載されているが、基本計画にうまく反映できてないような気がする。呉市として、都市間競争の中で、ワーケーションやテレワークを推進するという事を主な取組のどこかに明示すべきではないか。

### 【伊藤委員】

- ・政策分野3 P41「多文化共生社会の実現」について、外国人住民を生活弱者としてのみ捉えるではなく、多文化共生社会を作っていく、まちづくりをしていくためのパートナーとして捉えて欲しい。強い意志、高い能力を持つ外国人住民のこうしたいという意思や思いを引き出し、具体的な事業にしていく手立てが欲しいと思うので、まちづくりの担い手のところに、そういうことを考えて入れていただけたらうれしい。
- ・P50「国内外との多様な交流機会の充実」施策①市民と国内外の人々との交流の促進について、呉で長く暮らして、市外あるいは国外に行ってしまった人たちの多くは、呉市を第2の故郷だと思い、深い愛着を持っている。彼らと彼らの背後にある社会と結びつけ、交流事業を起こしてくというような発想はできないか。従来型のものではなく、何か新しい取り組みができるはずである。インターネット社会なので様々なことができる時代であり、柔軟に考えて欲しい。呉で育ち、呉で学んだ外国人は、呉のことが好きなので良いパートナーになってくれるはずである。

### 【向井副会長】

- ・仕事を作るとか、女性の起業のチャンスを与えると、資金調達のためにクラウドファンディングを行う、仕事を増やすために企業を誘致するなどうまくまとめられているが、その先のさらに安定成長させるという視点が要るのではないかと思う。
- ・特に農水産物のブランド化、販路拡大、流通にはフォローが必要ではないかと思う。具体的に言うと、官民連携、関係者連携の地域商社で最終的な投資をしていくという観点が必要ではないか。

### 【森本委員】

- ・いかなる環境や状況下にあっても様々なサービスを受けることができるようなデジタル化を推進し、体制を構築していくことが、市民のためでもあり、市職員の事務負担の軽減に繋がるものと思う。スマート自治体への転換期であり、その実現のために市の推進体制を構築していくことが大事である。
- ・人口や税収の増加が見込めないということを考えた中で、Society5.0時代の到来を見据えて、より質の高い行政サービスを持続的に行うためには、公共だけでなく、官民一体で、スマートシティの推進を図ることも必要ではないかと思う。
- ・「誰もが住み続けたい、行ってみたい」ではなく、「行って住みたい」と思ってもらえるところまで持って行きたい。東京から故郷の呉市を見てもらったとき、行って見るだけではまだ物足りない、住んでもらうためにはどうしたらよいかを考えなくてはいけない。
- ・今後展開される施策についても、しっかり審議されているのか、実施されているのかチェックしないといけないということを再認識した。

### 【松本委員（事務局代読）】

- ・政策分野8 P92の施策②「スマート自治体への転換」について、呉市では平成21年12月から個人市民税、給与支払報告書、法人市民税、固定資産税、償却資産について地方税電子化協議会が運営する地方税ポータルシステム、通称eLTAX

(エルタックス) を利用した電子申告の受付が開始されている。市県民税申告書には対応していない。市県民税申告書作成支援エクセルもあり、入力し印刷して郵送提出できるようになっているが、それを直接eLTAX (エルタックス) で送信できるようにシステム改良していただけると申告がスムーズに行えるので、ぜひ早期に検討して欲しい。

#### 【赤川会長】

委員の皆さんから、専門的な見地、一般的な視点から、大変貴重で忌憚のない、多様なご意見をいただきましたこと、本当にありがとうございます。これらの意見を踏まえて、この審議会が答申しました10年後の都市像である「誰もが住み続けたい、行ってみたい、人を惹きつけるまち「くれ」」を目指し、5年間の基本計画を上手く策定してもらえるものと期待しています。ちょうど時間となりましたので、議論をこれくらいにさせていたいただきたいと思います。色々な意見をいただきましたので、それらを踏まえて基本計画最終案をまとめていただきたいと思います。

#### 【市長閉会挨拶】

委員の皆さん、大変ありがとうございました。それぞれの専門分野、あるいは関心の強い分野について多岐に渡るご意見をいただきました。本当に大事だと思う話をいただきました。会長から話があったように、今回は諮問・答申という形ではなく、ここで出たご意見を呉市、事務方が作成します。大変重く広範な宿題をたくさんいただきましたので、これから職員ともども一生懸命、反映できるように努力してまいります。大変ありがとうございました。リモートでご参加いただいたお二人も本当にありがとうございました。

#### 【赤川会長】

それでは、以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。今日はありがとうございました。

以 上

20 : 30 会議終了